



福島県浪江町 請戸の海で漁業体験

令和7年9月

相馬双葉漁業協同組合 請戸地区、浪江町農林水産課農林水産係

漁業体験の詳細・申込はこちら！

ふくしま12市町村

移住サポーターガイドツアー

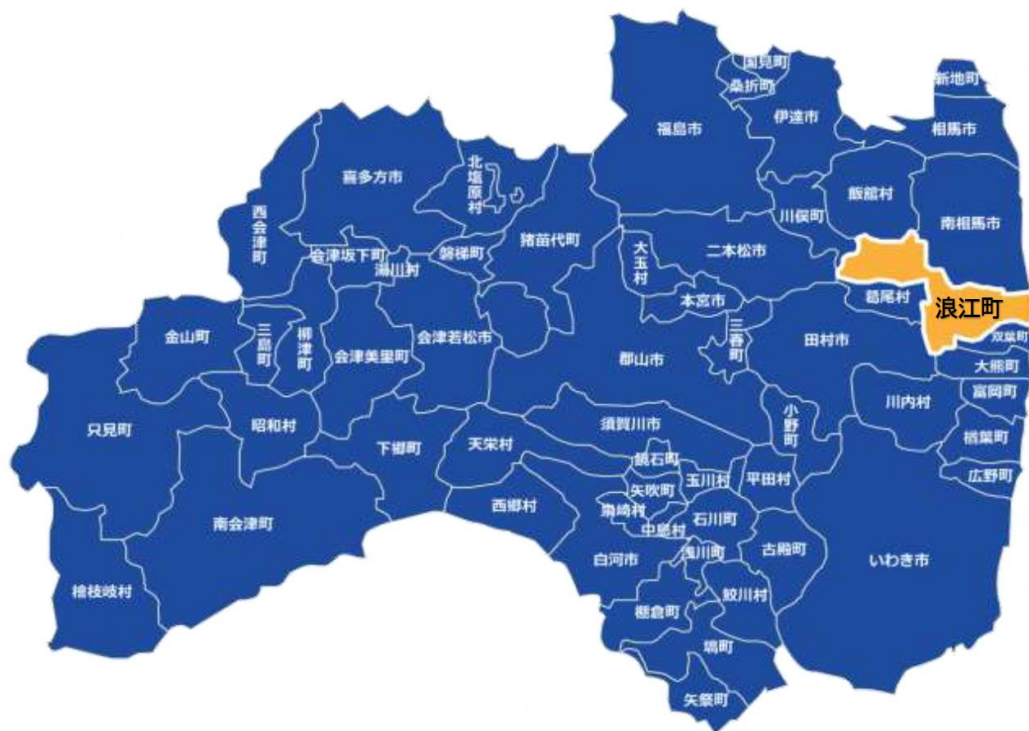


むさんこ行くべ！

請戸の船は走る。どの港の船よりも早く漁場につくために。
請戸の船は走る。どの港の船よりも遠くに。
請戸の船は走る。より良い魚を求めて。
請戸魂を胸に、チーム請戸はこれからも走り続ける。
まるで、海を舞台にしたアスリートのように。
そう合言葉は「むさんこ行くべ！」

※「むさんこ行くべ！」は、請戸漁師弁で「がむしゃらに行こうぜ！」の意味

浪江町はこんなところ



海と山と川に囲まれ、自然に恵まれたまち。

平成23年の東日本大震災および福島第一原子力発電所の事故により、多くの町民が避難生活を続けています。

一方で、新たに町内に移住する人が増えており、新しいことにチャレンジしやすいまち。

浪江町が住みたい田舎ベストランキング（2025年）で1位を獲得！

※宝島社が発行する「田舎暮らしの本」（2025年2月号）で発表された「2025年版第13回住みたい田舎ベストランキング」の「人口5千人未満のまち」で1位を獲得しました。



町の詳しい情報はこちら！
浪江町の旅と学び情報ガイド
あいべえなみえ



請戸漁港の再興



平成23年 東日本大震災で被災
平成29年 漁船が帰還
令和 2年 請戸漁港で競りが再開
令和 4年 請戸魚市の再開

漁船数 震災前(平成22年) 94船 → 震災後(令和7年) 29船
主な漁法 固定式刺し網漁業

※原子力発電所事故以降、福島県の沿岸漁業及び底びき網漁業にて続けられてきた試験操業は令和3年3月末で終了となり、令和3年4月から本格操業への移行期間に入りました。

請戸もの



福島県沿岸の海は親潮と黒潮がぶつかる「宝の海」とも言われ、ヒラメやカレイ、スズキ、アイナメ、シラスなど約100種類もの魚介類が水揚げされます。

震災前、請戸の海で獲れる水産物は、「常磐もの」と呼ばれ、中でも、「請戸もの」は魚市場で高い評価を受けてきました。



請戸ものの詳しい情報はこちら
浪江町HP
「請戸もの」について



請戸もの

1 豊かな漁場

親潮と黒潮が交わり多種多様なおいしい魚が年間を通して獲れる豊かな漁場。

2 グリーンブルー

栄養豊富な緑や茶色の親潮と、魚の種類が豊富な青や紺色の黒潮が交わったグリーンブルーの海。

3 新鮮な魚を届けられる漁場

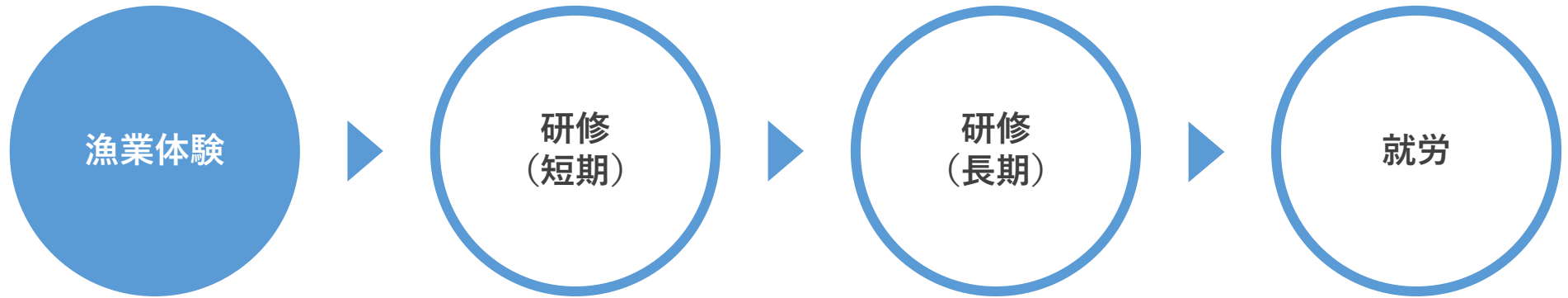
良い魚が獲れたら、すぐに持ち帰れる漁場。

4 携わる人々の熱い思い

東日本大震災による津波で、甚大な被害を受けた請戸漁港で、2020年4月に競りが再開。
請戸の漁師や仲買人たちが請戸復活の狼煙を上げた。



漁師はどんな仕事？ まずは漁業体験してみましょう



【漁業体験】

2泊3日または3泊4日の
どちらかのコースを選べます。
オリエンテーション、陸上作業、
乗船体験があります。

※R7年度は9～11月に実施予定

【3か月の研修】

先輩漁師から丁寧に
指導が受けられます。
※様々な漁法を体験

【1年の研修】

先輩漁師から丁寧に
指導が受けられます。
※一つの船で研修

研修を終えれば、
晴れて漁師です。

漁業体験（2泊3日）

日数	時間	内容
1日目	13:00～13:30	町の状況説明
	13:30～17:00	オリエンテーション、漁業者紹介等
	17:00～17:15	漁港からホテルへ移動
2日目	2:00～2:15	ホテルから漁港へ移動
	2:15～12:00	乗船体験、陸上作業（網の手入れ）、 せり、後片付け等
	12:00～12:15	漁港からホテルへ移動

日数	時間	内容
3日目	2:00～2:15	ホテルから漁港へ移動
	2:15～12:00	乗船体験、陸上作業
	12:00～13:00	昼食
	13:00～14:00	振り返り
	14:00～14:15	漁港からホテルへ移動
	14:15～	ホテルチェックアウト、帰宅

※ 箇所は、受入漁業者によって、時間が変更になる場合あり

- ・参加費無料（交通費・宿泊費は別（一部補助あり））
- ・参加者の持参物 ジャージまたは作業着、帽子（風で飛びづらいもの）
 カップ、長靴は受入れ側で準備します
- ・参加者数 1回あたり1名
- ・乗船体験では主に刺し網漁（危険性が少ない）の体験を予定

漁業体験の詳細・申込はこちら！
ふくしま12市町村
移住サポーターガイドツアー



漁業体験（3泊4日）

日数	時間	内容
1日目	13:00～13:30	町の状況説明
	13:30～17:00	オリエンテーション、漁業者紹介等
	17:00～17:15	漁港からホテルへ移動
	6:00～6:15	ホテルから漁港へ移動
2日目	6:15～12:00	陸上作業（網の手入れ）、せり、後片付け等
	12:00～12:15	漁港からホテルへ移動

日数	時間	内容
3日目	2:00～2:15	ホテルから漁港へ移動
	2:15～12:00	乗船体験、陸上作業
	12:00～12:15	漁港からホテルへ移動
4日目	2:00～2:15	ホテルから漁港へ移動
	2:15～12:00	乗船体験、陸上作業
	12:00～13:00	昼食
	13:00～14:00	振り返り
	14:00～14:15	漁港からホテルへ移動
	14:15～	ホテルチェックアウト、帰宅

※ 箇所は、受入漁業者によって、時間が変更になる場合あり

- ・参加費無料（交通費・宿泊費は別（一部補助あり））
- ・参加者の持参物 ジャージまたは作業着、帽子（風で飛びづらいもの）
カップ、長靴は受入れ側で準備します
- ・参加者数 1回あたり1名
- ・乗船体験では主に刺し網漁（危険性が少ない）の体験を予定

漁業体験の詳細・申込はこちら！
ふくしま12市町村
移住サポーターガイドツアー



漁師の1日

【夜明け前】出港



【朝】帰港、陸上作業



【午前】競り



【正午】作業終了

先輩漁師の声



漁師の魅力とは？

時間の自由さと、気楽さは漁師のいいところだと思います。「終われば終わり」だから、「何時まで」という縛りもない。自分が休みだと言え、その日は休みなので。

前職と漁師との収入の違いについて、そこまで不安はないですね。漁師は仕事をした分、収入として帰ってくる。そういうのは、サラリーマンとか陸商売には、全くない感覚。それが魅力だと思いますね。

漁師になって感じたことは？

サラリーマン生活を4、5年経て、漁師になりました。漁師を少し手伝っていたので、ある程度は想像内でしたが、本当に船に乗ってみると漁師の大変さは全然違う。想像してた感覚も違う。最初の頃は全てが想定外のイメージでした。

陸の仕事は小さい頃から見ているのでわかっていたのですが、沖に出たら想像と違っていました。

請戸の漁師はどんな人たち？

請戸漁港の人たちは、すごく優しいと思います。でなければ、青年部には入っていません。浪江町の外から来て、本当に人見知りだし、話すのも苦手だし。

だからこういう人たちでなかったら自分はいなかったかもしれません。みんなが集まると絶対に笑いが起きます。絶対笑いが起きるから、それが請戸漁港青年部の魅力です。



【新規就業者の声】Aさん（女性）



▼ 漁師を初めて何年目ですか？ ※R6年度時点

4年目

▼ 漁師になったきっかけ、興味をもった理由は？

父が一人で船に乗っていた時は、1回でいいから乗っていけと言われて、タコ漁に出航した。その時は船酔いがひどくてもう乗らないと思ったが、薬を飲んだら効いて大丈夫だった。父が一人で行くのも心配だし、2人の方が仕事の効率がいいので現在も乗っている。

▼ 漁師のやりがいは？

船酔いをしなければ、とても楽しい。大漁の時は特に楽しくて、やりがいがある。港に行ってもみんなと話すのが楽しい。魚を売るのも楽しみ。

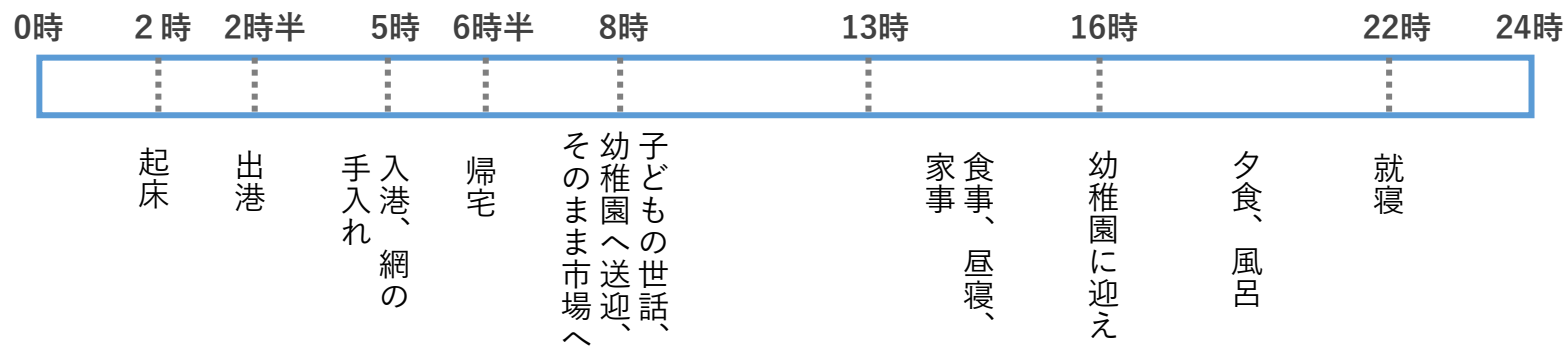
▼ 漁師の大変なところは？

船酔いがなければ最高。力仕事も大変でないし、汚れも匂いも気にならない。

▼ 新規就業を考えている人に知っておいてほしいこと

やりたいと思ってすぐにはできる仕事ではなく、テレビで観ると漁師は大変そうだけど、女の人でもできることはあるし、十分やれる。挑戦できるきっかけさえあれば、始められると思う。

< 1日のスケジュール >



【新規就業者の声】Bさん（男性）



▼ 漁師を初めて何年目ですか？ ※R6年度時点

9年目

▼ 漁師になったきっかけ、興味をもった理由は？

震災時、トラックの運転手だったが、同業者で亡くなった人がいた。死ぬ前に好きな事をやりたいと思った。それまでの環境は漁師と無縁だったため、ネットで検索して出てきた電話番号に応募し、県外の船に乗り、現在は、請戸で漁師を続けている。

▼ 漁師のやりがいは？

やった分だけお金につながる。市場で魚を売った時には達成感がある。努力した分、成果が出る。個人事業なので、時間の使い方が自由なのが魅力。

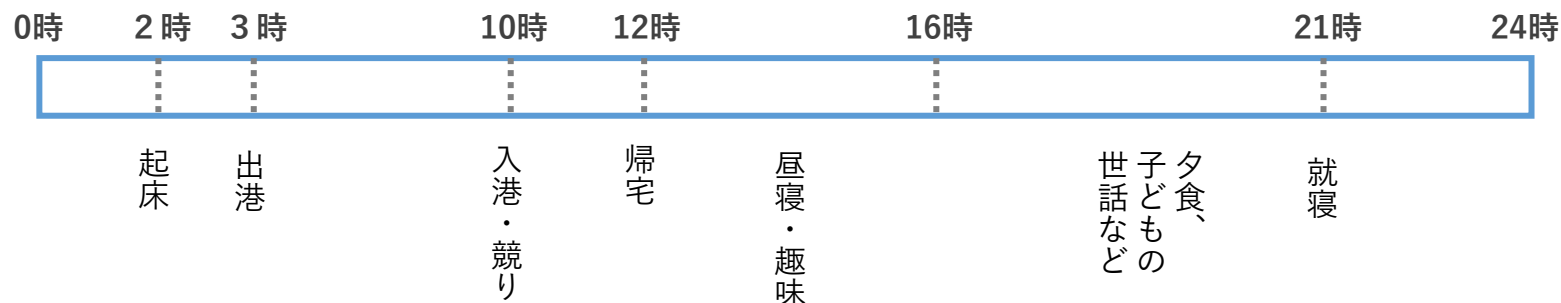
▼ 漁師の大変なところは？

海は待ったなしなので、漁を始めればストップがきかない。思うようにならない事も多い（逆に言えばそこが面白い）。身体的にきついと思った事はない。

▼ 新規就業を考えている人に知っておいてほしいこと

船価が高い。すぐにいつでもできる仕事ではないので、やりたいと思った時がチャンス。

< 1日のスケジュール >



支援制度

漁業 体験

- ・ **移住サポーター事業**

交通費、タクシー代、ホテル代（2泊分：1泊あたり5,000円補助）の補助

※現地までの交通費は実費と基準額を照らし合わせた金額となります。

※タクシー、ホテルは移住サポーター事業事務局が手配します。

- ・ **移住検討者町内滞在支援補助金**

宿泊費補助（1泊あたり2,500円補助）

※3泊4日コースの場合、3泊目分のみ、こちらの浪江町の補助金を使用

研修 (短期)

- ・ **移住検討者お試し宿泊補助金**

宿泊費補助（いこいの村なみえ月額宿泊費2万円、レンタカー費の補助）

研修 (長期)

- ・ **移住者向け住宅支援補助金**

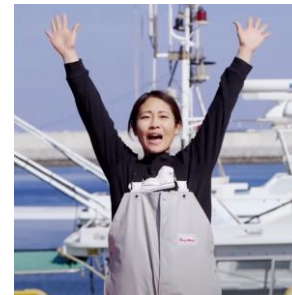
家賃補助（月額家賃のうち37,000円を超える金額について最大4万円補助）

移住の詳しい情報はこちら！
浪江町移住ガイド



私たちと一緒に漁師として働いてみませんか？

請戸の海は楽しいよ。ぜひ、請戸に！



【お問合せ】

相馬双葉漁業協同組合 請戸地区 TEL 0240-34-4121

浪江町農林水産課農林水産係 TEL 0240-34-0236